

県議会やまがた

2月定例会号

第41号／令和5年（2023年）5月発行（年4回発行）



[2月定例会] 着物姿で本県の伝統産業をPR

時ものであります。) 原案などに提出しました。また、除排雪に携わる方々に感謝する決議を可決しました。主な質疑内容は、次ページの所属会派名は2月定例会

意見書は5件発議し、全て採択となりました。議案を可決・同意しました。請願は1件上程され、不採

2月定例会が、2月20日から3月16日までの25日間の会期で開催されました。本会議で自由民主党及び県政クラブによる代表質問と、6名の議員による一般質問が行われました。さらに、予算特別委員会での8名の委員による質疑や各常任委員会での審査を行った上で、令和5年度一般会計当初予算など、知事提出の64件を可決・同意しました。

2月定例会の概要

「県議会やまがた」第41号は、2月定例会の内容を中心にお伝えします。

- 2月定例会の一般質問
- 予算特別委員会の質疑
- 可決した意見書・決議
- 知事への政策提言

- 2月定例会中の県議会ギャラリー
- 2月定例会の代表質問
- 2月定例会の中の県議会ギャラリー

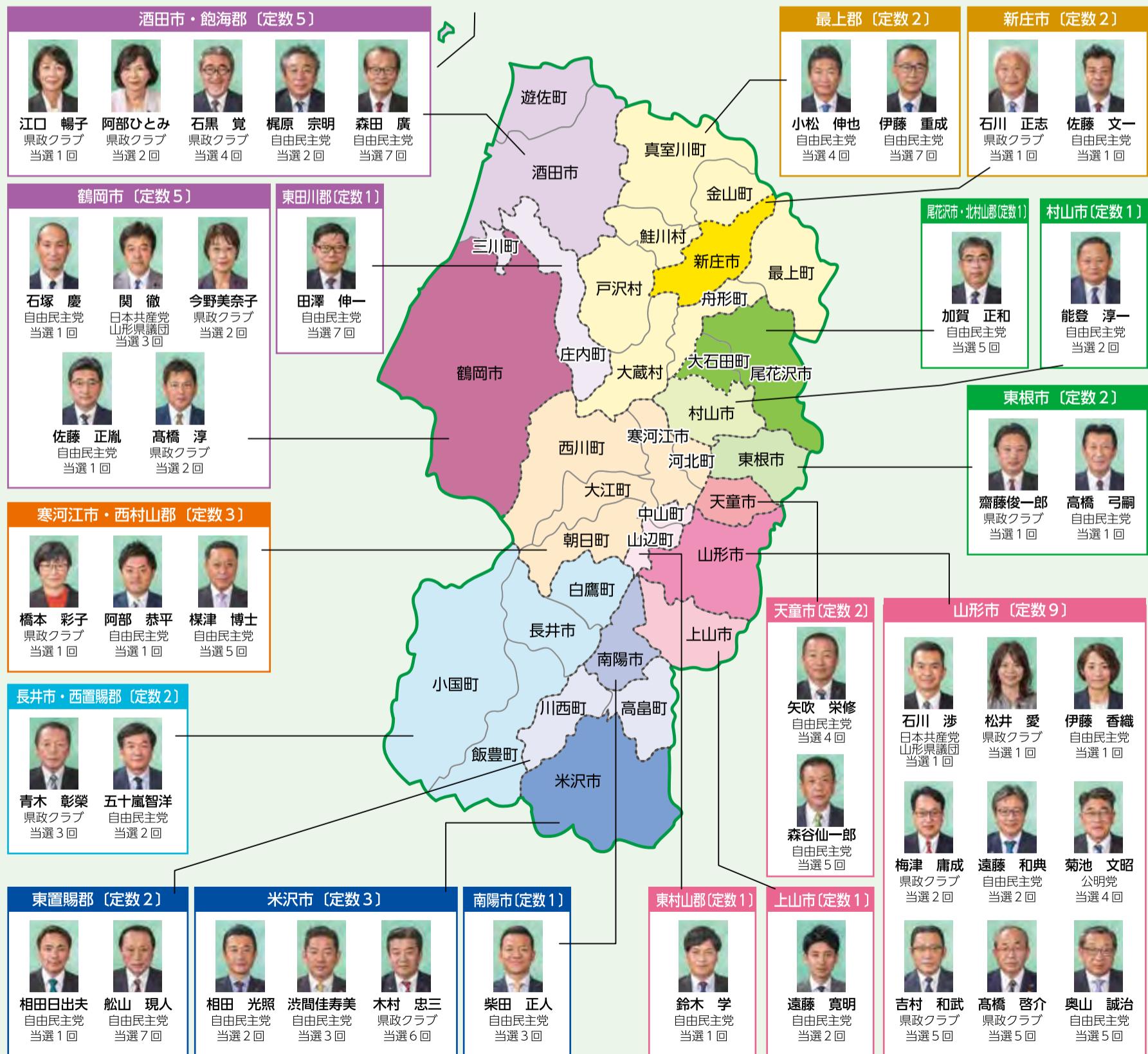
● 2月定例会の概要
● 新議員の紹介

● 1ページ
● 2ページ
● 3ページ
● 4ページ
● 目次

新議員の紹介

任期は令和5年4月30日から4年間です。
5月臨時会の開会日に、議長および副議長の選挙が行われ、第35代議長に森田廣議員（酒田市・飽海郡選挙区）が、また、第68代副議長に小松伸也議員（最上郡選挙区）が選出されました。
所属委員会などの詳細は、臨時会の内容と併せて次号で紹介します。

選挙区ごと議席番号順
※氏名 ※所属会派 ※当選回数





鉄道の利便性向上

問

関係市町と連携し予算を

投入して鉄道の利便性を向上

させ、SDGsにかなう社会

づくりを目指すべきと考える

がどうか。

答 鉄道は地域住民の日常生活を支える公共交通機関であることには加え、環境負荷が低いという特性から、SDGsやカーボンニュートラルの観点からも重要な社会基盤である。令和5年度当初予算で、各地域における取組みに対する支援を計上しており、市町村などとの連携を深めていく。

メタバースやNFT技術の活用

問

メタバースやNFT技術を活用した施策展開についてどのように考へておられるか。

NFTとは
Non-Fungible Token(非代替性トークン)の略称。「偽造・改ざん不能のデジタルデータ」であり、ブロックチェーン上で、デジタルデータに唯一の性質を付与して真贋性を担保する機能や、取引履歴を追跡できる機能をもつもの。
※「経済財政運営と改革の基本方針2022」(令和4年6月7日閣議決定)の脚注より

的な普及が進んでいくと考えている。メタバースに関する取り組み事例などの把握に努めながら、行政課題に応じた活用に向けて検討する。



果樹の扱い手確保

問

果樹園の維持や扱い手の確保に向けた市町村の地域計画策定などに関し、どのような支援をしていくのか。

答 令和4年2月に「農地集積・集約化プロジェクト会議」を立ち上げ、市町村や農業委員会などと連携し、市町村の計画策定や農地の集積・集約化を支援している。また、同会議に検討チームを設置し、樹園地の維持方策や扱い手がない樹園地の継承手法の検討を進めている。果樹の扱い手確保と樹園地の継承にしっかりと取り組んでいく。



ICTなどを活用した農業用ため池の安全対策

問

ICTなどを活用した農業用ため池の安全対策を今後どのように進めていくのか。

答 防災工事が必要な農業用ため池について計画的に整備を進めるほか、梅雨と台風シーズン前のドローンによるシーケンス前後のドローンによる飛行割を示すとともに、脱炭素社会の実現を図り、県民の健康で文化的な生活の確保を図ることを目的としている。県民・事業者の役割について周知し、一人ひとりの行動変容を促すほか、ロードマップを議論し実効性のある施策を展開する。



大旦川河川整備事業の現状と今後の取組み

問

大旦川河川整備事業をどのように進めていくか。

答 防のかさ上げや河川・調節池の整備を並行して計画的に進めている。これまでの整備により、下流の治水力が一定程度向上したため、今後は、上流や支川の河道掘削、堤防整備を進めていく。また、調節池については、早期に治水効果を発現させるため、暫定的に計画面積の約3割に当たる樹園地の継承を実現するため、暫定的に運用開始を予定しており、河川整備の進捗を踏まえ進めていく。



モンテディオ山形の新スタジアム整備に向けた協議の状況

問

天童市などを交えた関係者間の協議および今後の整備見通しはどのような状況か。

答 県では、新スタジアムの整備予定地に選定された県総合運動公園の使用に関し協力の要請を受け、天童市による代替地確保の方向性などを踏まえ、協力する旨回答した。現在、モンテディオ山形が中心となり具体的な整備計画や中長期的な運営計画を検討していると聞いており、天童市の考えも聞いた上で対応を検討していく。



県立博物館の整備に向けた今後の進め方

問

県立博物館の移転整備について今後どのように進めていくのか。

答 令和5年2月に開催した第3回有識者懇談会では、前回までの内容を踏まえ深掘りされた意見が示された。今後はこれまでに出された意見を基に、より専門的な見地や県内外の各界各層から意見を聴取するとともに、現博物館の現状と課題の整理や先進事例調査を行い、基本構想の素案の作成に取り組んでいく。

引き続き関係者の意見を聞きしつかりと取り組んでいく。



内水対策

問

内水被害防止が困難な河川を指定して流域治水を推進する「特定都市河川制度」の活用を含め、内水被害の軽減についてどのように考えるか。

答 浸水被害防止が困難な河川を指定して流域治水を推進する「特定都市河川制度」の活用を含め、内水被害の軽減についてどのように考えるか。



高校生の自転車利用時のヘルメット着用促進

問

モード校を設置するなど高校生の自転車用ヘルメットの着用が進む環境をつくっていくべきと考えるがどうか。

答 水産省に制度拡充を要望した。CT機器導入には国庫補助事業を活用できるが、通信料などの維持管理費は対象外であるため、令和5年1月に農林水産省に制度拡充を要望した。



高校生の自転車利用時のヘルメット着用促進

問

モード校を設置するなど高校生の自転車用ヘルメットの着用が進む環境をつくっていくべきと考えるがどうか。

答 モノづくりの活性化を図るために、令和5年1月に農林水産省に制度拡充を要望した。



やまがた健康住宅の普及と改良

問

やまがた健康住宅をどのように普及拡大していくか。

答 これまでの「健康面」の効果に加え、「高い省エネ性能」をより強力に発信し、若い世代をはじめ幅広い層の県民の関心を高めていく。その上で、ターゲットを明確に意識しながら、様々な広報媒体を活用し、県民目線の分かりやすい情報発信を行っていく。



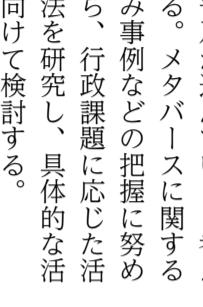
中京圏・関西圏における山形県に関する情報発信の強化

問

中京圏・関西圏に対する情報発信などをどのように強化していくのか。

答 同圏においては、さくらんぼのトップセールスなどに加え、観光情報番組の放送や名古屋・大阪両事務所での移住セミナー開催など取組みを強化している。令和5年度は「やまがた紅王」の本格デビューが予定されており、本県をPRする好機である。今後も両事務所における知名度アップのPR活動や移住相談対応など現地でこそできる活動を積極的に展開していく。

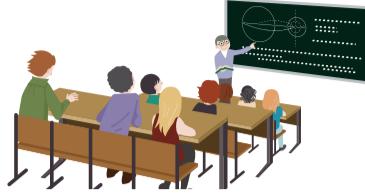
的な普及が進んでいくと考えている。メタバースに関する取り組み事例などの把握に努め取り組み事例などの把握に努めながら、行政課題に応じた活用方法を研究し、具体的な活用に向けて検討する。



問 児童・生徒の進学先に選ばれ、地域活性化に貢献するためどう取り組むか。

答 農林業の人材育成には、教育の質の向上に加え、学校や地域との連携が不可欠です。大学に受け入れての模擬授業、高校の探求型学習での助言などを実施し、大学の優位性をPRしていく。また、授業の一環として、教員と学生が積極的に地域に入り議論を重ねることで、地域の課題解決と活性化に貢献していきたい。

新たな新庄病院での救急患者受入れと生活習慣病への対応



問 地域救命救急センターでは、専門医を配置し、専門性の高い救急医療を提供できるようになります。さらに、夜間休日診療所の機能を移転し、医師会の協力を得て運営を行い、患者の利便性向上を図る。また、がんや糖尿病などの生活習慣病に対応する診療機能を強化することで、医療需要にしっかり対応していく。

問 移住・定住の推進

答 都市部の子育て世帯が本県での子育てやテレワーク、アクティビティなどを体験したり、気軽に山形の仕事や観光、暮らし、地域との交流を体験したりする取組みや、テレワークを活用した移住経費の助成を行う。さらに、首都圏に加え、関西圏や中京圏において、食や県民の人柄など山形の魅力を積極的に発信し、移住者の増加につなげていく。

問 蔵王の樹氷再生に向けた取組み

答 蔵王の樹氷再生の取組みをどう進めていくのか。

問 「子育てするなら山形県」の予算

答 「子育てするなら山形県」を標榜する中、子育て支援策に予算を集中して施策展開をして支援策に重点配分してきたところであり、関連する令和5年度当初予算額は、吉村知事の就任以前と比べ2倍以上となつた。4月のこども家庭府発足も考慮し、財源の移譲など政府の動向を注視しながら、市町村、関係団体などと連携し、施策を構築していく。

問 最上地域に初めて設置する地域救命救急センターでは、担う役割は何か。また、生活習慣病にどう対応するのか。

答 最上地域に初めて設置する地域救命救急センターでは、専門性の高い救急医療を提供できるようになります。さらに、夜間休日診療所の機能を移転し、医師会の協力を得て運営を行い、患者の利便性向上を図る。また、がんや糖尿病などの生活習慣病に対応する診療機能を強化することで、医療需要にしっかり対応していく。

問 東北農林専門職大学（仮称）と学校や地域との連携

答 東北農林専門職大学（仮称）と学校や地域との連携

問 児童・生徒の進学先に選ばれ、地域活性化に貢献するためどう取り組むか。

答 農林業の人材育成には、教育の質の向上に加え、学校や地域との連携が不可欠です。大学に受け入れての模擬授業、高校の探求型学習での助言などを実施し、大学の優位性をPRしていく。また、授業の一環として、教員と学生が積極的に地域に入り議論を重ねることで、地域の課題解決と活性化に貢献していきたい。

問 人口減少と今後の県政運営

答 人口減少が進む中、今後県政をどう運営していくのか。

問 テレワークや副業など新しい働き方に対応した移住の促進などに力を入れてほしい。

問 高度な救急医療情報システムの導入

答 救急隊の現場滞在時間の短縮など一定の効果が認められるが、リアルタイムでの情報更新を行う場合に多忙な医療現場に新たな負担をかけることになるなど、運用上の課題もある。救急搬送困難事案の解消に成果を上げている事例などを研究し、関係者と十分に議論を重ね、本県の実情にあつた有効なシステムの導入に向け取り組んでいく。

問 県立博物館の移転整備に向けた今後のスケジュール

答 基本構想の策定から開館まで10年程度かかると想定している。新博物館の理念や機能、施設内容、財源など様々な課題があり、地域づくりや観光との連携など多様なニーズにも応えながら、山形らしい魅力的なものとする必要がある。基本構想素案の作成にあたっては、地域の意見を聞きながら、山形らしさを尊重する方向性もその中で整理していくと考えている。

問 移転整備に向け、完成目標年次を掲げて取り組むべきと考えるがどうか。

問 無所属 山科 朝則 議員（新庄市選挙区）

問 自由民主党 金澤 忠一 議員（山形市選挙区）

問 県政クラブ 吉村 和武 議員（山形市選挙区）

問 県立博物館の移転整備に向けた今後のスケジュール

答 基本構想の策定から開館まで10年程度かかると想定している。新博物館の理念や機能、施設内容、財源など様々な課題があり、地域づくりや観光との連携など多様なニーズにも応えながら、山形らしい魅力的なものとする必要がある。基本構想素案の作成にあたっては、地域の意見を聞きながら、山形らしさを尊重する方向性もその中で整理していくと考えている。

問 移転整備に向け、完成目標年次を掲げて取り組むべきと考えるがどうか。

●新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けの変更に伴う影響に対する万全な対応等を求める意見書

●空き家の発生抑制と利活用の促進を求める意見書

●不登校児童生徒等の支援体制の拡充と学習機会の確保に必要な財政支援を求める意見書

●森林環境譲与税の譲与基準の見直し及び林业・木材産業の活性化対策の推進を求める意見書

●医療・介護・保育・福祉などの現場で働く全ての労働者の賃金の更なる引上げを求める意見書

可決した決議

- 除雪に携わる方々に感謝する決議

知事への政策提言

【まちづくり・交通インフラ対策特別委員会】

- 提言1 地域交通インフラ・ネットワークの充実
- 提言2 地域運営を維持するための環境整備

【生涯健康・子ども支援対策特別委員会】

- 提言1 子どもの貧困に対する支援の充実・強化
- 提言2 医療に頼らない健康維持の取組みの推進

【デジタル化・脱炭素社会対策特別委員会】

- 提言1 生産性向上に向けた農業と建設業のデジタル化の促進
- 提言2 「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向けた農林業の活性化と新産業の創出

3月15日、3つの特別委員会における県政の重要課題に関する調査・審議の結果を踏まえ、議会の総意として、県政発展につながる施策をとりまとめ、知事に対して政策提言を行いました。概要は次のとおりです。



知事に政策提言を手交する坂本貴美雄議長



※提言の全文は県議会のホームページでご覧いただけます。

県議会は、年に4回（2月・6月・9月・12月）定例会を開催します。

「県議会やまがた」は、各定例会の概要などをお知らせします。

編集・発行 山形県議会

〒990-8570 山形市松波2-8-1 Tel 023-630-2846
https://www.pref.yamagata.jp/kensei/assembly/index.html

山形県議会

検索



県議会の傍聴・インターネット中継のご案内

県議会の本会議や委員会は公開されており、どなたでも傍聴することができます。

※マスクの着用は、議員・執行部・傍聴者ともに個人の判断となります。

現在、席数の利用制限はありません。（席数には限りがあります）

本会議と予算特別委員会はインターネットによるライブ中継・録画放送で視聴できます。スマートフォンからもご覧いただけます。

問合せ先 (傍聴) 023-630-2840

(インターネット中継) 023-630-2845

※詳細は、議会ホームページでご確認ください。



傍聴について

中継について